2026年９月更新

看護学科2026年度カリキュラムマップ

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係性を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力【生涯学習、キャリア形成】
1	にいみの文化	◎	△	△	○	△	◎
1	にいみの保健医療福祉	○	○	△	○	◎	△
1	にいみ地域協働演習	○	○	◎	◎	◎	○
1	健康科学Ⅰ(健康・医療論)	○	◎	△	○	◎	○
1	健康科学Ⅱ(身体の仕組みと機能)	◎	◎	△	△	－	○
1	健康科学Ⅲ(基礎病態学)	○	◎	△	○	○	○
1	健康科学Ⅳ(病気の治療)	○	◎	△	○	○	○
1	基礎ゼミナールA	◎	○	◎	◎	○	◎
1	哲学	◎	△	○	○	△	○
1	文学	◎	△	○	－	－	◎
1	倫理学	△	－	△	◎	○	－
1	美術	◎	◎	－	－	○	◎
1	音楽	◎	○	－	△	－	◎
1	日本国憲法	○	△	△	△	－	－
1	経済学	◎	○	－	◎	△	○
1	社会学	○	◎	－	◎	◎	－
1	教育学	◎	○	○	△	△	○
1	心理学	◎	◎	◎	○	△	○
1	ICTリテラシーⅠ	△	◎	○	○	－	◎
1	ICTリテラシーⅡ	○	◎	○	◎	－	◎
1	自然科学Ⅰ	◎	◎	△	○	－	◎
1	自然科学Ⅱ	◎	◎	△	○	－	◎
1	英会話Ⅰ	◎	－	◎	－	－	○
1	英語Ⅰ	◎	－	◎	－	－	－
1	国際コミュニケーション	◎	－	○	－	－	○
1	手話	◎	◎	◎	○	○	○
1	国語表現法	◎	△	◎	△	－	◎
1	スポーツ実習Ａ	○	○	○	◎	－	◎

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係性を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力【生涯学習、キャリア形成】
1	スポーツ実習Ｂ	○	○	◎	○	－	◎
1	生涯スポーツ論	○	○	△	○	－	◎
1	医療概論	◎	○	○	○	○	○
1	保健医療統計学Ⅰ（基礎）	－	△	－	◎	－	－
1	社会福祉	○	◎	○	○	○	○
1	地域ボランティア活動	◎	○	◎	○	○	○
1	人体構造学	○	◎	△	○	－	○
1	人体機能学	○	◎	△	○	－	○
1	生命活動と代謝	◎	◎	－	○	－	－
1	微生物学	－	◎	－	○	－	－
1	病態治療学A（腎・泌尿器・内分泌・代謝）	○	◎	－	◎	△	－
1	臨床栄養学	－	◎	○	◎	△	－
1	基礎看護学概論	◎	◎	◎	○	◎	○
1	健康生活援助技術論	◎	◎	◎	◎	○	○
1	療養生活援助技術論Ⅰ	◎	◎	◎	◎	○	○
1	療養生活援助技術論Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	○
1	フィジカルアセスメント	◎	◎	◎	◎	○	△
1	基礎看護学実習Ⅰ	◎	◎	◎	○	○	○
1	地域看護学	◎	◎	○	◎	○	○
1	成人看護学概論	◎	◎	○	◎	○	○
1	老年看護学概論	◎	◎	○	◎	○	○
1	教職基礎論	○	△	○	△	△	○
1	保育の心理学	◎	◎	○	○	◎	◎
1	子ども家庭支援の心理学	◎	◎	○	◎	◎	－
1	保育内容「健康」	◎	◎	○	◎	△	◎
1	保育内容「環境」	○	◎	◎	○	○	○
1	保育内容「言葉」	－	◎	◎	○	－	－
1	保育内容「表現」（身体表現）	◎	◎	◎	○	○	◎
1	乳児保育Ⅰ	◎	◎	○	△	○	○

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係性を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力【生涯学習、キャリア形成】
2	地域防災論	◎	◎	－	○	△	○
2	地域防災演習	◎	◎	◎	◎	○	○
2	ICTリテラシーⅢ	◎	◎	○	◎	△	◎
2	英会話Ⅱ	◎	－	◎	－	－	○
2	英語Ⅱ	◎	－	◎	－	－	－
2	健康科学英語	◎	○	○	－	－	○
2	ICTリテラシーⅢ	◎	◎	○	◎	△	◎
2	保健医療福祉法制	○	◎	○	◎	◎	○
2	人間関係論	○	○	◎	○	○	○
2	基礎病理学Ⅰ（総論）	－	◎	－	○	－	－
2	基礎病理学Ⅱ（各論）	－	◎	－	○	－	－
2	薬と健康	－	◎	△	○	△	－
2	医療情報	○	◎	－	－	－	－
2	病態治療学B（脳・神経・運動器・放射線医学）	○	◎	－	◎	△	－
2	病態治療学C（呼吸器・血液・循環器）	○	◎	－	◎	△	－
2	病態治療学D（外科各論・消化器）	○	◎	－	◎	△	－
2	女性の健康と疾患	－	◎	－	◎	△	－
2	小児の健康と疾患	○	◎	－	◎	△	－
2	心の健康と疾患	－	◎	○	◎	△	－
2	薬と疾病	－	◎	○	◎	△	－
2	看護過程論	◎	◎	◎	◎	◎	○
2	健康障害援助技術論Ⅰ	◎	◎	◎	◎	○	○
2	健康障害援助技術論Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	○
2	臨床判断と臨床看護学総論	◎	◎	◎	◎	○	○
2	基礎看護学実習Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	○
2	在宅看護論	◎	◎	○	◎	○	○
2	在宅看護援助論	◎	◎	◎	◎	○	○
2	成人看護学援助論A（慢性期）	◎	◎	○	◎	◎	○

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観 【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能 【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係性を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力 【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力 【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力 【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力 【生涯学習、キャリア形成】
2	成人看護学援助論B（急性期）	◎	◎	○	◎	◎	○
2	老年看護学援助論	◎	◎	○	◎	○	○
2	精神看護学概論	◎	◎	◎	◎	○	○
2	精神看護学援助論	◎	◎	◎	◎	○	○
2	母性看護学概論	◎	◎	○	○	○	○
2	母性看護学援助論	◎	◎	○	◎	◎	○
2	小児看護学概論	◎	◎	○	◎	◎	○
2	小児看護学援助論	◎	◎	◎	◎	◎	○
2	公衆衛生看護学概論	◎	◎	◎	◎	◎	○
2	教育学総論	◎	◎	○	○	○	◎
2	保育内容「人間関係」	◎	◎	○	○	◎	◎
2	肢体不自由者の心理・生理・病理	○	◎	◎	○	○	◎
2	SDGsと社会福祉	○	◎	△	○	△	△
2	地域経済学	◎	○	－	◎	△	○
3	チームアプローチ演習	○	◎	◎	◎	◎	◎
3	英語論文講読	◎	○	○	－	－	○
3	保健医療統計学Ⅱ（応用）	－	△	－	◎	－	－
3	保健医療福祉行政論	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	カウンセリング	○	◎	◎	◎	○	○
3	国際保健論	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	ボランティア論	○	△	◎	○	○	－
3	疫学	－	○	－	◎	－	－
3	疫学調査・疫学演習	－	○	△	◎	－	－
3	地域リハビリテーション論	－	◎	○	◎	○	－
3	地域医療論	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	在宅看護実習	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	成人看護学援助論C（緩和ケア）	◎	◎	○	◎	○	○
3	成人看護学実習A（慢性期）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	成人看護学実習B（急性期）	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観 【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能 【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係性を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力 【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力 【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力 【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力 【生涯学習、キャリア形成】
3	老年看護学実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	生活支援看護学実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	精神看護学実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	母性看護学実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	小児看護学実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	看護倫理	◎	◎	○	○	○	○
3	看護管理	◎	◎	○	◎	◎	◎
3	救命救急医療論	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	看護生涯教育論	○	△	○	△	◎	◎
3	臨床コミュニケーション論	◎	◎	◎	○	○	○
3	継続看護論	◎	◎	○	◎	◎	○
3	卒業研究Ⅰ（基礎編）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	訪問看護展開論Ⅰ	◎	◎	○	◎	◎	○
3	訪問看護展開論Ⅱ	◎	◎	○	◎	◎	○
3	公衆衛生看護活動展開論	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	健康教育論	○	◎	◎	◎	◎	○
3	地域保健指導論Ⅰ（基礎）	○	◎	◎	◎	◎	○
3	産業保健	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	学校保健	○	○	◎	◎	◎	◎
3	健康相談活動	△	◎	◎	◎	◎	○
3	養護概説	◎	◎	○	◎	◎	◎
3	学校救急処置	△	◎	○	◎	○	○
3	教育原理	△	◎	○	△	－	○
3	教育心理学	◎	◎	○	◎	○	○
3	特別支援教育	◎	○	◎	○	◎	△
3	道徳教育・特別活動及び総合的な学習の理論と方法	△	◎	◎	◎	○	◎
3	生徒指導論	○	○	○	○	○	○
3	教育相談（養）	○	○	◎	◎	◎	○

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観 【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能 【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係性を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力 【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力 【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力 【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力 【生涯学習、キャリア形成】
4	統合実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	臨床援助技術論	○	◎	◎	◎	△	○
4	インターンシップ実習	○	△	○	△	◎	◎
4	卒業研究Ⅱ（実践編）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	訪問看護展開論実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	養護実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	教職実践演習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	公衆衛生看護管理論	◎	◎	◎	◎	○	◎
4	地域ケアシステム論	○	◎	◎	◎	◎	◎
4	地域保健指導論Ⅱ（応用）	○	◎	◎	◎	◎	○
4	公衆衛生看護学実習Ⅰ（基礎）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	公衆衛生看護学実習Ⅱ（応用）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	養護実習指導	○	○	◎	◎	◎	◎